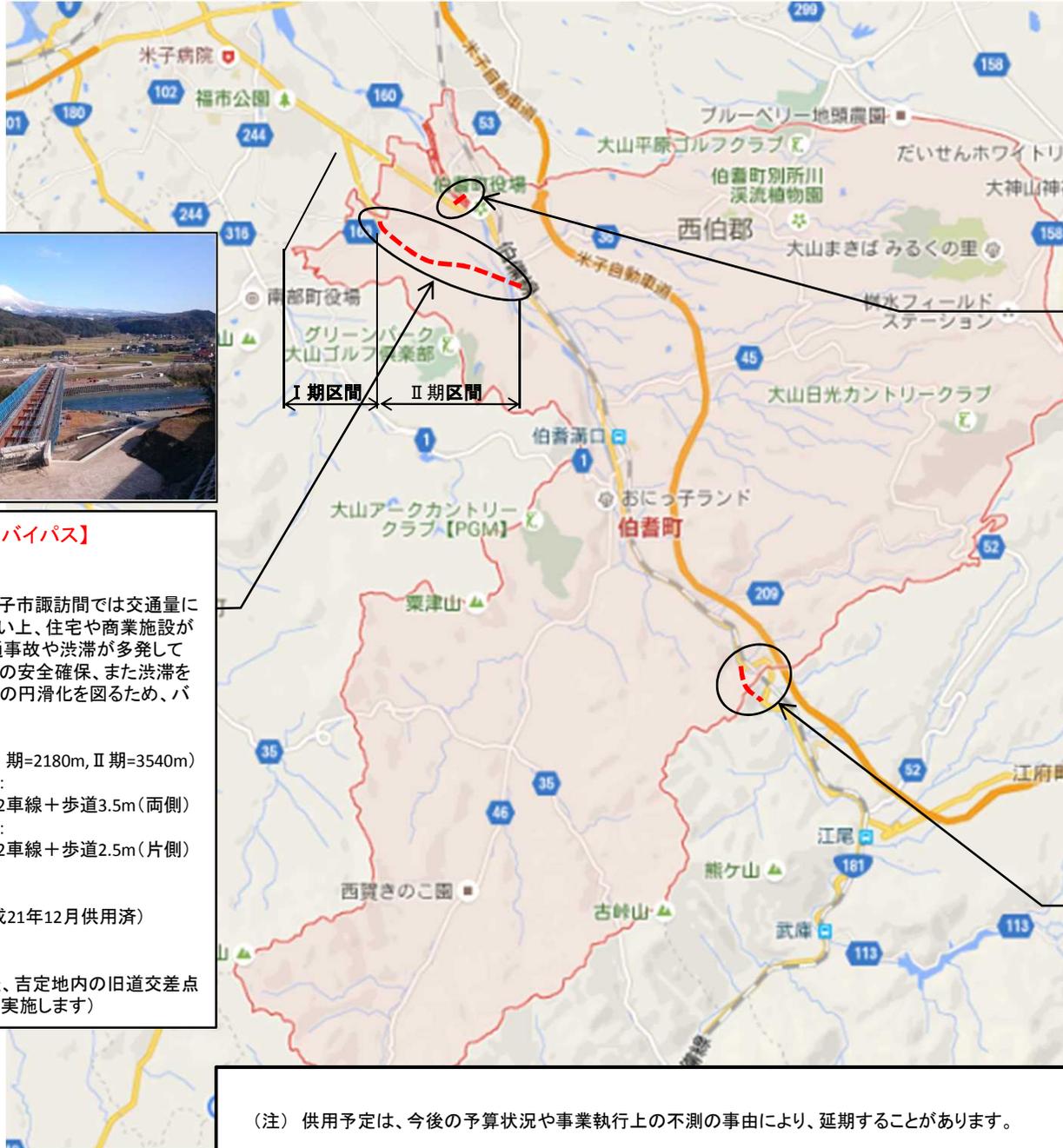


伯耆町内の主要な道路事業について



【国道181号岸本バイパス】

- ①事業目的:
伯耆町吉定～米子市諏訪間では交通量に対して道路幅が狭い上、住宅や商業施設が密集しており、交通事故や渋滞が多発している。そこで、交通の安全確保、また渋滞を解消し交通や物流の円滑化を図るため、バイパスを新設する。
- ②規模:
延長L=5720m (I期=2180m, II期=3540m)
幅員 (I期区間):
W=車道3.25m×2車線+歩道3.5m(両側)
幅員 (II期区間):
W=車道3.25m×2車線+歩道2.5m(片側)
- ③全線供用予定:
平成30年3月
(I期区間は平成21年12月供用済)
- ④事業完了予定:
平成32年3月
(バイパス供用後、吉定地内の旧道交差点工事を継続して実施します)



【国道181号伯耆橋歩道橋】

- ①事業目的:
伯耆橋を走行する車両から歩行者や自転車を守るため、狭小な現橋歩道に代わる歩道橋を新設する。
- ②規模:
橋長L=184m
幅員W=歩道3.0m
- ③供用予定:
平成29年12月



【国道181号佐川～根雨原バイパス】

- ①事業目的:
現道はJRアンダーパス部では冠水の危険及び桁下制限があり、かつ線形不良で、斜面からの落石・土砂崩壊の危険性もあるため、交通の円滑化を図り、米子自動車道の代替道路としての機能を強化するため、バイパスを新設する。
- ②規模:
延長L=1550m
幅員W=車道3.25m×2車線
- ③供用予定:
平成30年代半ば

(注) 供用予定は、今後の予算状況や事業執行上の不測の事由により、延期することがあります。